

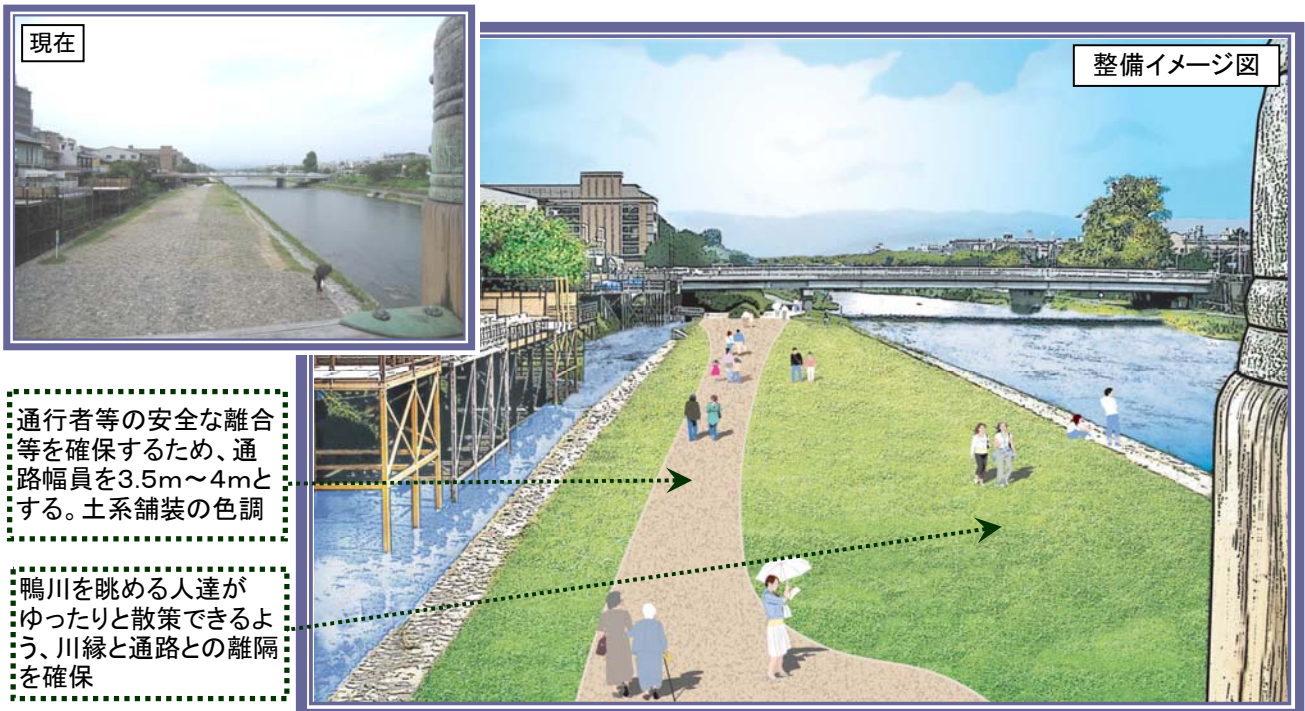
三条大橋～御池大橋間の右岸高水敷整備について

「水辺の回廊整備・鴨川創造プラン(アクションプラン)」及び「鴨川公共空間整備基本プラン」に基づき、三条大橋～御池大橋間右岸高水敷について、下記のとおり、整備を進めて行くこととしております。

記

【整備パースの考え方】

- 通行者等の安全な離合が可能な幅員を確保したうえで、緑のスペースが多く取れるようにする。
(※概ね3.5mから4.0m程度の幅員)
- 同じ緑の面積であっても、視覚的に緑が多く感じるよう、通路を片側によせて配置する。
- 鴨川を眺める人達がゆったりと散策できるよう、川縁と通路の距離をできるだけ広く確保する。
四条大橋から三条大橋間の高水敷幅が狭くなっているため、みそそぎ川側によせる。
(※三条大橋～御池大橋間の高水敷幅(平均約15m)
 四条大橋～三条大橋間の高水敷幅(平均約10m))
- 施工予定の土系舗装(身体に優しい弾力のある舗装材)の色合いとする。



【工事の予定】

- 工事期間：平成22年11月下旬から平成23年3月下旬まで

【今後の対応】

整備後の現場を確認いただいたうえで、以下のような事項について、鴨川府民会議のメンバーなどから、さらに意見を伺い、来年度の整備に反映させていく。

- ベンチ、低木植栽など付帯的な施設の設置について
- 四条大橋から三条大橋間の整備に反映する改善点について など

参考) これまで鴨川府民会議やシンポジウムで説明してきたイメージパース

